

(受付時間 午前8時30分～午前11時:予約がある場合は、その限りではありません。)

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備考
精神科神経科	新患		●		●	●	新患は予約制
	一般再来		●		●	●	院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約(医療機関からの申込みに限る)
	児童・思春期外来	●					(院内他科通院の方は当科外来受付・内線1306で予約) ※紹介状も必要です。
	光トポグラフィ外来	●	●		●	●	「光トポグラフィ外来」の予約、申込みは紹介元医療機関から医療福祉支援センターFax(098-895-1498)にて
	睡眠外来						
認知症疾患医療センター	もの忘れ診断外来		●			●	「光トポグラフィ外来」の予約、申込みは紹介元医療機関から医療福祉支援センターFax(098-895-1498)にて
放射線科	放射線診断・IVR			●		●	新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る)(院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約)
	CTガイド下・PVP			●		●	他院画像読影依頼は、放射線科医のいない医療機関の取り込み画像のみ可(フィルムは不可)
	甲状腺・RI			●			※月曜日は緩和治療中心。要事前連絡、院内紹介のみ(連絡先:①4255 ②4571 ③3840)
	放射線治療	●	●	●	●	●	重粒子線治療相談外来は水曜日のみ
麻酔科	麻酔科	●		●		●	新患は要予約(医療機関からの申込みに限る)
	ペインクリニック	●		●		●	(院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約)
歯科口腔外科	新患・一般外来	●	●	●	●	●	新患は要紹介状
	口唇・口蓋裂	●					新患・一般外来: 月曜日～木曜日
	顎変形症	●					
	腫瘍	●	●	●	●	●	
	口腔ケアセンター	●	●	●	●	●	
リハビリテーション部	リハビリテーション科	●	●	●	●	●	・リハ新患は、月～金(月曜日は検査優先・金曜日は要電話)リハ対象者は、入院患者のみ。以外に電話で要相談。 ・産科治療外来: 第1・3金曜日の午後(院内紹介のみ)
	心大血管リハ	●	●	●	●	●	・心大血管リハ新患は、院内入院患者のみ。(月～金)
高気圧治療部	高気圧治療部	●	●	●	●	●	新患は要紹介状・要連絡(内線3290・4732)
血液浄化療法部	血液浄化療法部	●	●	●	●	●	
地域医療部	地域医療部	●	●	●	●	●	※新患は原則要紹介状
総合診療センター	総合診療科部門	●	●	●	●	●	総合診療科部門は午前のみ※外来患者のみ ※新患は原則要紹介状
	禁煙外来	●		●		●	火・水・金曜日の午前中・予約制 ※当院通院中の外来患者のみ
	漢方外来			●		●	第3金曜日の午後のみ ※事前予約が望ましい
がんセンター	ワクチン外来(感染対策室)		●			●	火・金曜日の午後のみ(インフルエンザワクチンを除く) 予約制。総合診療センター・内線1310へ要連絡 (連絡受付時間: 月～金曜日の14時～16時まで)
	緩和ケア外来(身体的緩和部門)	●	●	●	●	●	新患は要紹介状(火・木曜日は予約制)
	緩和ケア外来(精神的緩和部門)	●	●	●	●	●	
	がん看護外来	●	●	●	●	●	月・火・木・金曜日(12:00～16:00) 水曜日(12:00～14:00) 内線4766で予約
救急部	救急部						24時間診療

琉大病院

健康と元気のある
社会をめざして



University of the Ryukyus Hospital

HOTLINE

令和元年11月29日
発行
附属病院広報委員会

皆様の情報誌です。ぜひ、ご家庭にお持ち帰りください。http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

巻頭の挨拶

医療の大きなパラダイムシフトに想う



青木 陽一

副病院長・産科婦人科長

令和になりました。菅義偉官房長官が「令和」と額縁を翳してから、約半年です。今、医療はまさに100年に一度とも考えられる大きな変換・転換点にあり、ゲノム医療、ロボット手術、医療へのAI導入等、すでに大きく変わってきています。産婦人科領域から、その大きなパラダイムシフトを目にして、想うところを少し。2015年1月、アメリカのオバマ前大統領のPrecision Medicine Initiative宣言以降、治療薬の選択や用量の設定だけでなく、個別の疾患予防対策を視野に入れた広い意味でのゲノム医療改革は、目をみはるものがあります。医療を施す場合には、患者さんのゲノム情報をもとにグループ分けし、そのグループごとの治療法の確立

および予防医療の提供が、目指すべきものであるという考えです。

ゆったりとした進歩だった婦人科がん領域でも、個人の元々のゲノム情報、がんのゲノム情報をもとに、診断・治療が検討・実施されています。これまでの治療は、がんの種類によって、適切な治療薬が選択されてきました。今ではがんの種類によらず、ゲノム情報をもとに診断・治療を考えていく方法がどんどん導入されています。婦人科がんのゲノム情報を取り入れた分子標的治療でも、数年前まで、保険収載されている分子標的薬は、卵巣がんに対する抗VEGF抗体のみでしたが、いまや子宮頸がんに抗VEGF抗体、卵巣がんのPARP阻害薬、さらに高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する固形癌(子宮体がん、子宮頸がん、子宮肉腫、卵巣がん等)に免疫チェックポイント阻害薬が使用できるようになりました。これらは、がんの種類によらず、ゲノムの特徴により、がん種横断的に効果が期待されています。そして、最近では数種類の免疫チェックポイント阻害薬やPARP阻害薬とこれにマルチキナーゼ阻害薬、抗VEGF抗体の組み合わせの臨床試験・治験が目白押しの状況です。あまりの急展開に混乱しそうですが、ワンパターンの抗がん剤治療は終焉を迎えつつあります。診断の領域でも新型出生前診断である母体血胎児染色体検査、卵巣がんの乳癌卵巣癌遺伝子検査(BRCA1/2)や子宮体癌のリンチ症候群遺伝子検査、高頻度マイクロサテライト不安定性、がん遺伝子パネル検査等、臨床の現場において大きな変化が現れています。

医療の大きなパラダイムシフトに伴い、以前の診断・治療とは全く様相を異にしてきました。今までにないような劇的な効果も目の当たりにし、その進歩を実感し始めています。しかし、いまでも医療の現場での一番のEBM(科学的根拠に基づく医療)は、自施設である琉大病院での治療成績のフィードバックであり、それを患者さんにいつでも説明し、治療していくことだと考えています。最新の診断・治療はもちろん取り入れつつ、自分たちが医療を行う環境での施設データが、症例報告も含め一番のエビデンスだと思っています。

本院の理念及び基本方針

理念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた全人的医療の実践
2. 地域における保健・医療・福祉の向上に対する貢献と関係機関との連携
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 国際性豊かな医療人の育成

患者さんの権利と義務について

琉球大学医学部附属病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と義務があることを確認いたします。

●患者さんの権利●

1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病名、身体について、知られたくないことを守られる権利があります。

●患者さんの義務●

1. 最善かつ適切な診療を行なうために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝えてください。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力してください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力してください。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにしてください。

平成22年8月制定 平成29年2月13日一部改正

本院までの交通機関

●那覇バス 所要時間:那覇バスターミナルより本院まで約50分

97番 琉大線
経路:那覇バスターミナル～牧志～備保～琉大病院前～長田～中部商業高校前～琉大北口

タクシー・乗用車での所要時間
●那覇市街より約25分 ●沖縄市街より約20分
●那覇空港より約35分 ●モノレール首里駅から10分
※モノレール備保駅からバス(97番)で30分

附属病院
ホームページが携帯サイトからも閲覧できます。

携帯用QRコード
au docomo SoftBank

ボランティア募集
本院では、一般の方からの病院ボランティア(外来ロビーでの案内・補助等)を広く募集しております。空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか? まずはお気軽にご連絡ください。
【連絡先】総務課(098-895-3331(内線:1006))

琉球大学医学部附属病院 電話(098)895-3331(代表)
医療福祉支援センター(内線1371)
〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地
http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

就任の挨拶



高槻 光寿

第一外科教授

『安全第一』で高度先端医療を提供します

令和元年7月1日付で消化器・腫瘍外科学(第一外科)の教授を拝命しました高槻光寿と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

我々の担当はいわゆる一般外科で、消化器外科・乳腺内分泌外科・小児外科を広くカバーしており、私はその中でも消化器外科、特に肝胆膵外科を専門にしております。当院は県内唯一の特定機能病院ですが、肝胆膵外科についても「日本肝胆膵外科学会」が指定する『高度技能専門医修練施設』であり、肝胆膵外科領域の高難度手術の提供と、そのための人材育成が認められています。難しいとされる肝臓や膵臓の手術も安全に行っており、進行癌であっても消化器内科や放射線科の先生と協力して手術以外の治療も組合せ、患者さんに最適な治療を提供するようにしています。

また、肝硬変などお薬での治療が難しい患者さんに対しては『肝移植』も視野に入れていきます。特にアルコール性肝硬変や生活習慣に伴う脂肪肝が多い沖縄県においては、これからニーズが増えていく可能性があります。肝移植は保険が認められている医療ですが沖縄では今まで定着せず、手術が必要な方の大半が沖縄県外で治療を受けています。「沖縄で医療完結」を目指す当院として、その導入は義務であると考えています。

食道癌・胃癌や大腸癌などの手術に対しては、傷が小さく負担の少ない腹腔鏡手術を行っており、乳癌や小さいお子さんの手術も専門性の高い医師が手術を担当しています。沖縄の最後の砦として、最先端の治療を取り入れつつ、患者さんの健康と安全を第一に考えて治療にあたっています。手術はこわいと思われるでしょうが、患者さんご家族には十分に納得して治療を受けられるように、病院全体でバックアップする体制ができておりますので、安心してお任せください。

それでは、令和の時代とともに生まれ変わった新しい消化器・腫瘍外科を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

就任の挨拶



西田 康太郎

整形外科教授

目の前の患者さんのために、 目の前にいない患者さんのために

令和元年7月に、当学整形外科教室の第3代教授に就任いたしました西田康太郎と申します。私は、1992年に鳥取大学医学部を卒業し、神戸大学整形外科教室に入局いたしました。研修の後、大学院での基礎研究の延長として1996年から3年半にわたってPittsburgh大学整形外科での留学生活を経験し、2001年から神戸大学に戻り、脊椎外科を専門として研鑽を積んで参りました。このたび、初代茨木邦夫教授、第2代金谷文則教授が築いて来られた教室を引き継がせていただいたことを大変光栄に存じます。

整形外科は運動器の治療・研究を行う診療科です。運動器とは、我々の体を自由に動かすために必要な脊椎、四肢骨、関節といった骨格にはじまり、それを動かし支持する筋肉や靭帯と神経系から成り立っています。高齢社会の到来により、整形外科のニーズは高まる一方です。私達は運動器の治療を受け持つプロとして、まず目の前の患者さんを治療できるよう、個々の診療能力の向上に尽力いたします。また、現時点で目の前にいない患者さんのために、診療や研究から得た知見を可能な限り広くわかりやすい形で発信することが必要です。さらに未来の患者さんのために、新たな治療を開発し、次世代を担う優れた整形外科医を育成することも重要な責務と考えます。まずは沖縄で完結できる最高水準の医療を提供し、そして最先端を目指します。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

就任の挨拶



中村 幸志

衛生学・公衆衛生学講座教授

沖縄県の健康長寿復活を目指して

令和元年7月1日付で琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座の教授を拝命しました中村幸志と申します。当講座は琉大病院で診療を担当していませんが、沖縄県民の健康づくりを担う立場として広報誌でごあいさつできることを光栄に思います。

公衆衛生学は、社会医学や予防医学に位置づけられ、人(集団)と環境への組織的アプローチによって、疾病予防・健康増進を図る領域です。本来は医療機関の全ての診療科と接点を持つ幅広い領域ですが、私は循環器系疾患(心疾患、脳卒中、その危険因子である高血圧、代謝異常)、がんを中心とするいわゆる生活習慣病の予防を専門としています。これに関する研究と実践活動の研鑽を県外のいくつかの大学で積んでまいりました。

かつての沖縄県は健康長寿県として知られていましたが、現在はそうではありません。本土よりも早い洋風食文化の浸透や沖縄県特有の地理的・社会的事情のためでしょうか、生活習慣病が増加しています。そのような中、当講座は、県、市町村、事業所、学校などで健康づくりを担う皆様、琉大病院をはじめとする医療機関の皆様、職能団体の皆様、そして何より県民の皆様とともに健康長寿復活に貢献していきます。そのための科学的根拠を見出し、関係者の実践活動を支援していくことが当講座の役割と考えています。皆様とは、地域や職場などでお会いすることがあるかもしれません。どうぞよろしくお願い申し上げます。



診療科の紹介



近藤 毅

精神科神経科長

多様なうつ病への対応を目指して

不安になったり、ふさぎこむ日々が続いたり、こころの病気にだけはいかかたくなかと思っていられる方は多いでしょう。代表的疾患であるうつ病は5人に1人が生涯のうち一度はなる可能性のあるありふれた病気ですが、自身の気持ちの変化に気付くことは意外と難しく、客観的なデータを示してくれると理解しやすいという声も聞かれます。また、うつ病には様々なタイプがあり、たとえば、双極性(うつと躁の両方の時期がある)や発達特性(自閉スペクトラム症や注意欠陥多動性障害)がある場合には、通常治療とは異なる対応が必要となります。

琉球大学医学部附属病院・精神科神経科では、通常治療に抵抗性を示す多くの方々が紹介されてきます。現在、当科では、単極性と双極性のうつ病を鑑別する光トポグラフィー検査(非侵襲的に前頭葉活動をみる約20分の検査)を実施し、個人の気質・性格や発達特性を評価する総合的な心理検査を行い、多様なうつ病の鑑別診断に役立てています。治療においても、エビデンスに基づいた薬物療法(臨床精神神経薬理学研修施設認定)や各種精神療法(認知行動療法を含む)の個別化を図り、治療方針を考案しています。重症度の高い治療抵抗性うつ病には修正型電気けいれん療法(入院治療)を行い、高い寛解導入率を得ています。

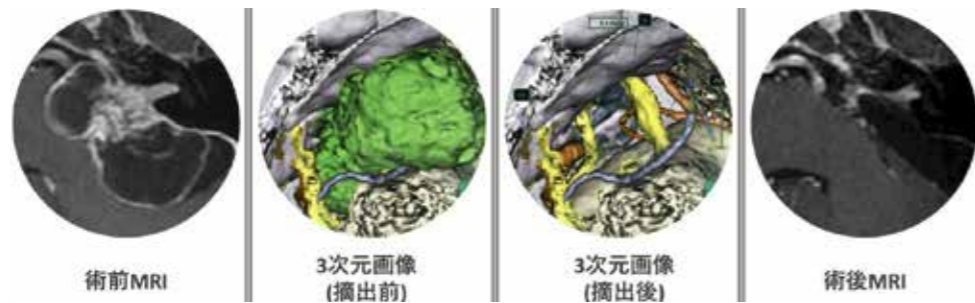
多様なうつ病の治療の他にも、当科では小児思春期専門外来を開設し、小児の発達障害、不安障害、精神障害への対応に取り組んでおり、当院の認知症疾患医療センターとの協働により高齢者の各種認知症疾患の相談・鑑別診断・治療対応に備えているほか、当院他科に入院されている患者さんの精神面のサポートを行うリエゾンチームも活動しています。

今後も、老若男女を問わず、皆さまが受診しやすい身近な診療科となるよう、医局員一同努力を重ねていきたいと思っております。

聴神経鞘腫(ちょうしんけいしょうしゅ)の手術

脳神経外科長 石内 勝吾 助教 外間 洋平

脳神経外科であつかわれる疾患のなかに脳腫瘍があります。今回はそのうちのひとつ、聴神経鞘腫の手術治療について簡単に紹介したいと思います。聴神経鞘腫は、聴神経をつつむ鞘である神経鞘からでてくる良性腫瘍です。聴力低下や耳鳴り、めまい、ふらつきなどの検査で指摘されることが多いです。生命中枢である脳幹部や、体幹のバランスを司る小脳を圧迫している大きなものは、特に手術の対象となります。腫瘍は顔面神経に近接し、変形させているものがほとんどであるため、手術中は神経モニタリングを併用し、機能温存に配慮した工夫を行っています。また、手術前にはCTやMRI画像を統合した3次元画像を作成し、開頭範囲や内耳道の掘削の程度の検証や、術野からみえる腫瘍、各種脳神経、動脈、静脈といった構造物の位置関係の把握に利用しています。最近では特殊な撮像条件を用いて、通常のMRIでは視認できないようなほどに変形している脳神経の可視化も試みています。手術は長時間に及び、適切な手術療法のためには、医師のみならず、手術看護師、手術室技師など医療従事者の方々の継続的な協力が必要不可欠です。患者さんが安心して治療を受けられるよう、これからも術前検討、チーム医療を推進し、安全な診療に努めていきたいと考えています。



中央診療施設等の紹介



武村 克哉

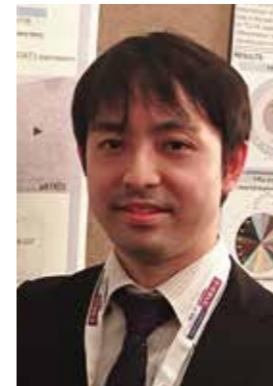
総合診療センター

総合診療センターの紹介

皆さんは総合診療についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。2018年から始まった新専門医制度では、19の基本領域の一つとして総合診療が創設され、新聞でも総合診療の文字を目にする機会が多くなりました。一口に総合診療といっても、診療が行われる医療機関やその場所によって、総合診療の役割は異なります。地域のかかりつけの先生がなさっているような、日常的にみられる病気などに対して適切な初期対応と継続的な診療を行い、必要に応じて他の専門医や職種と連携しながら、地域で生活する人々を支えていくことは総合診療の大きな役割です。皆さんの中には、少し前に放映されていた総合診療を冠したタイトルのテレビ番組をご覧になって、患者の症状から病名を探り当てるイメージを総合診療にお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。確かに大学病院の総合診療外来はそのイメージに近いところがあります。

当院の総合診療センターは外来部門で、総合診療外来、禁煙外来、漢方外来等を担当しています。総合診療外来では、症状の原因がわからず、「体がだるい」など、どの診療科に行っているかわからない症状の方の診療を主に行っています。専門診療科での診療が必要な場合には、当該専門診療科に紹介しています。総合診療外来受診を希望される方は、かかりつけの先生からの紹介状をご持参の上、受診されてください。

表彰



森近 一穂

第二内科

森近一穂医師が第59回日本リンパ網内系学会で優秀演題口演賞を受賞

概要: 琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学(第二内科) 教授 益崎 裕章 及び 同大学院医学研究科 細胞病理学講座教授 加留部 謙之輔 らの共同研究チームは、悪性リンパ腫で最も患者数の多いびまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)において、特にMYD88 L265P変異陽性もしくはEpstein-Barrウイルス陽性の症例ではJAK阻害剤が効果を示す可能性があることを明らかにしました。本研究成果は第59回日本リンパ網内系学会(2019年6月27日~29日:出雲市民会館)で発表され、琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学(第二内科) 医員 森近 一穂が総数150の発表のうち最もインパクトのある5演題に与えら

れる優秀演題口演賞を受賞しました。MYD88 L265P変異陽性もしくはEpstein-Barrウイルス陽性症例はDLBCL全体の約1/4に該当し、予後が悪い病型とされています。本研究の成果は画期的な治療法に繋がる可能性があるとして、注目されています。

お知らせ

いずみ保育所リニューアルについて

本院では、職員の仕事と子育ての両立を支援するために敷地内保育施設「いずみ保育所」を設置していますが、この度、施設の大幅な改修工事を行いました。

これは、1.施設の老朽化の解消、2.保育児と保護者の安心・安全の確保、3.保育所で働く職員の就業環境の改善を目的としたもので、改修にあたっては、これまでの保育所運営で培った現場職員の意見や要望を反映させています。

(保育所職員の声)

- ・大きな押し入れやたくさんの収納スペースができ、見た目にもスッキリしました。また、琉球畳が映え、部屋が明るくきれいになり嬉しく思います。
- ・新しい収納にはネットや扉で落下防止策が講じられており、安全性が高まりました。安心して使用できます。
- ・シャワー室から園庭への出入り口が広くなり、また、足洗い場には手すり等の改善がされてとても使いやすくなりました。

(保護者の声)

- ・子ども達の安全面に配慮され、収納も増えて使いやすそうですね。ベランダテラスも広くなりよかったです。
- ・トイレ・シャワー室の床がクッション性のあるものになり、安全性が高まってよかったです。

(保育室)



収納不足のため、おもちゃ等があふれていた。窓も遮られ、採光も期待できず。

壁面に作付けの押し入れを設置し、物品を収納(転落の防止)。量やフローリングは新調、壁面は塗装して明るい雰囲気。

(トイレ・シャワー室)



一般的なタイル張りのため、乾きづらく冷たい印象。収納もなく、物があふれている状態。

水はけがよくクッション性の高い床シートへ変更。壁面収納も造作し、収納不足を解消した。

(テラススペース)



床面の沈みや柵の腐食が目立った既存設備から新設した(面積も増床)。また、門扉を設置して各保育室から園庭への出入りを容易にした。

(その他)



現場職員の意見を参考に、保育児の安全確保、職員にとって利便性の高い設備を整備。この他、剥がれの目立つベランダタイルを滑りにくい床シートへ変更し、避難経路の確保を行った。

専門外来診療日割表

(受付時間 午前8時30分～午前11時:予約がある場合は、その限りではありません。)

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備考
第一内科	感染症内科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	呼吸器内科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) 肺腫瘍:火・金曜日 (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	消化器内科(消化管)	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	消化器内科(肝臓)	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	消化器内科(胆道・膵臓)	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
第二内科	膠原病・リウマチ内科		●	●			
	血液内科(骨髄移植外来含む)		●	●			
	成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)外来		●	●			
	肥満症(生活習慣病)		●	●			
	糖尿病・代謝内科	●	●		●	●	糖尿病外来は専用フォーム有 (月曜日は、院内入院糖尿病患者の紹介のみ)
	インスリンポンプ外来	●	●				
	内分泌内科	●	●				
第三内科	骨粗鬆症・男性更年期(LOH)	●	●				
	女性医師による女性外来	●	●				
	脳神経内科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
循環器科	高血圧・腎臓内科	●	●		●	●	
	高齢内科	●	●		●	●	
第一外科	循環器科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	上部消化管外科	●		●			新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	下部消化管外科・肛門外科	●		●			新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	肝胆膵外科	●		●			新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
第二外科	乳腺・甲状腺外科	●		●			小児外科は午後のみ
	小児外科	●		●			新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約) 院内紹介は事前に電話相談
	呼吸器外科		●	●			新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約) 木曜日は、再来予約のみ
脳神経外科	心臓血管外科		●	●			新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	ステント外来		●	●			新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
整形外科	血管外科		●	●			新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	一般・腫瘍	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る)
	脳血管障害	●	●		●	●	他院・他科からの紹介・予約患者は 10時～11時に受付 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約 院内からの紹介は脳外科外来受付(月・水・金)内線 1307 で予約 緊急を要する患者は医師 1171 または病棟 3801 へ連絡し当日の当直医(担当医)が対応します。
	新患・再来	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	神経心臓	●	●		●	●	※リウマチエコー外来は、(月)午前のみ ※水曜日のリウマチ外来は、午後予約のみ
	ニューロリハビリ	●	●		●	●	※肩関節(スポーツ)は午後のみ
	脊椎・脊髄	●	●		●	●	※乳児股関節の精密検査は要予約 整形外来内線 1301 で予約
	手外科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	リウマチ	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	骨・軟部腫瘍	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
股関節(スポーツ)	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)	
肩関節(スポーツ)	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)	
骨粗鬆症	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)	
小児整形	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)	
形成外科	新患・一般再来	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	新患	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	産科婦人科	●	●		●	●	【婦人科・生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症】 新患は、要紹介状・要予約 (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約) 【産科】紹介状有りが望ましいが、科の特殊性として紹介状なくても診察します。*火曜日・木曜日:予約再来のみ
小児科	産科婦人科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	新患・一般再来	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	腎臓	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	アレルギー	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	内分	●	●		●	●	小児循環器専門医は不在
	遺伝・先天代謝異常	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	神経	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
皮膚科	新生児	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	血液(移植外来)	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	膠原病	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	長期フォローアップ外来	●	●		●	●	※第2、第4週 金曜午後(院内患者のみ)
	皮膚科	●	●		●	●	新患は要紹介状
腎泌尿器外科	皮膚外科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約 (医療福祉支援センター・内線 1371 で予約)
	乾癬	●	●		●	●	院外からの紹介は、医療福祉支援センター・内線 1371 で予約 (乳幼児、学校健診も含む)
	強皮症・皮膚筋炎	●	●		●	●	小児泌尿器外来:月曜日午後(予約再来のみ) :金曜日午前(新患のみ)
	再	●	●		●	●	腎移植外来:午前は新患のみ、午後は再来
耳鼻咽喉科	小児泌尿器外来	●	●		●	●	新患は要紹介状
	腎移植外来(午前 新患)	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	腎移植外来(午後 再来)	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	新患	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	甲状腺・頭頸部腫瘍	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	鼻副鼻腔・アレルギー	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	中耳炎・難聴・めまい・顔面神経	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	人工内耳	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	小児難聴・補聴器	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	口腔咽喉頭・唾液腺	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
音声・嚥下	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要	
眼	頭部エコー外来	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	アレルギー・免疫治療外来	●	●		●	●	アレルギー・免疫治療外来:予約再来のみ
	緑内障	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
小児眼科	小児眼科	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	網膜硝子体	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	角膜	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	神経・腫瘍・ぶどう膜	●	●		●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要